

創立 63 周年記念に寄せて

生徒・保護者のみなさんへ

令和 7 年（2025 年）11 月 2 日、私たちの学校は 63 年めの創立記念日を迎えます。
この記念すべき日を、みなさんと共に迎えられることを大変うれしく思います。

昭和 38 年（1963 年）、大阪市立鶴見商業高等学校として開校した本校は、当初は旭区森小路の仮校舎でスタートしました。その後、現在の鶴見区緑の地に校舎を構え、地域と共に歩みながら、数多くの卒業生を社会に送り出してきました。令和 4 年（2022 年）には大阪府に移管され、現在の大阪府立鶴見商業高等学校として新たな一歩を踏み出しました。

本校の校訓は「愛・誠・禮」です。

- ・ 愛（あい）：人を思いやる気持ち
- ・ 誠（せい）：誠意を尽くす気持ち
- ・ 禮（れい）：礼儀をわきまえる態度

この三つの言葉には、「人を大切にし、真心をもって接し、礼儀を重んじる人間に育ってほしい」という願いが込められています。これは、社会の一員として他者と協調し、信頼される人間になるための基本的な姿勢であり、本校が長年にわたって大切にしてきた教育の根幹です。

現在の鶴見商業高校は、選択科目の充実や商品開発プログラム、進路指導の強化など、時代の変化に対応しながらも、変わらぬ教育理念のもとで日々進化を続けています。部活動や学校行事も活発で、みなさん一人ひとりが主役となって輝いています。

これからの鶴見商業高校を担うのは、まさにみなさんです。63 年の歴史と伝統、そして「鶴商プライド」を胸に、未来を切り拓く力を育み、社会に貢献できる人材として羽ばたいていってください。

最後に、これまで本校を支えてくださった地域のみなさま、保護者のみなさま、そして卒業生のみなさまに心より感謝申し上げます。これからも鶴見商業高等学校は、地域と共に歩み、未来を見据えた教育を実践してまいります。

令和 7 年 11 月 2 日

大阪府立鶴見商業高等学校
校 長 谷 口 達 之 輔